

麻酔科・ペインクリニック科の紹介

麻酔科は手術室での手術麻酔業務と周術期管理、および外来でのペインクリニック、痛みセンター、緩和医療における痛み治療、病棟での緩和ケアチームの一員として診療をおこなっています。

『手術麻酔』

年間6000件を超える手術患者さんを対象に全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、エコーガイド下末梢神経ブロックなどを用いて、麻酔管理を行っております。手術を受ける方の麻酔科医による診察は通常、手術前日に行い全身状態の評価を行い診察の上、麻酔計画を策定します。

『ペインクリニック』

外来ではおもに頭痛、顔面痛、腰下肢痛、頸肩腕痛、術後痛、がんの痛みなど多種の侵害受容性痛や神経障害性痛の治療に加え、眼瞼、顔面痙攣へのボトックス治療も行っています。

診察日は月、水、土の週3回、完全予約制で診察しています。帯状疱疹後神経痛やCRPSなどの神経障害痛の診察経験が豊富で、神経ブロック、薬物療法に加え、低出力レーザー、イオントフォレーシスなどの治療機器を用いています。

『痛みセンター』

原因不明のまま長引く痛みのために家事、仕事、学校生活ができなくなっている慢性の痛みの患者さん（年齢不問、がん患者を含む）を対象に、初診時に看護師、薬剤師、精神科医、ペインクリニック医師が順番に面談する集学的な診察・説明し、痛みの原因に応じた対処法を提案しています。

受診患者さんの特徴として、①診察、MRI、CTなどの画像診断でも痛みの原因がわからない、②多くの医療機関を受診しても痛みの原因について説明を受けなかったことがない、③痛みの原因を知りたい、④痛みの対応法を知りたいなどが挙

げられます。痛みセンターでは集学的診察にて多方面より痛みの原因を推定し、慢性痛特有の痛みの機序とともに患者さんに理解していただきます。その後センターでは痛み治療は行わず、患者さんと相談の上、紹介医師での継続、当院ペインクリニック、整形外科、リハビリテーション、心療内科、精神科などへ紹介となり、その後は当該診療科での継続治療となります。

『緩和ケアチーム』

麻酔科医師は当院での緩和ケアチームの一員としても診療に参加しています。緩和ケアチームは医師（精神科医、麻酔科医、心療内科医）、看護師、薬剤師、公認心理師、MSW、管理栄養士がメンバーとなり各科から依頼された入院患者さんとそのご家族に対する緩和ケアを提供しています。生命をおびやかす病に関連する痛みや、病気に伴う体と心のつらさ（息苦しさ、倦怠感、不安、眠れないなど）を感じている患者さんやご家族に対し、それらのつらさを緩和できるように多職種で支援する専門家チームです。

各外来での担当医師についてはホームページをご確認ください。

<https://www.itabashi.med.nihon-u.ac.jp/division/anesthesia/outpatient>